

八戸

青森タイハツ

自動車の部品 勉強に役立てて

光星高専攻科に寄贈

青森タイハツ(相庭太一社長)は20日、八戸学院光星高専攻科の自動車科へ、自動車の動力伝達装置部品「デファレンシャルギヤ」を寄贈し、相庭社長が生徒に「未来の整備士として社会に貢献してくれることを願っている」とエールを送った。



デファレンシャルギヤ2基を寄付した
相庭太一社長(左)

寄贈は自動車整備人材 学校などに部品などを贈与育成支援の一環で、2年 続けている。に1回、青森県内の専門 同校で寄贈式が行わ

れ、相庭社長から目録を受け取った齋藤弘美校長補佐が「実習だけでなく、座学でも活用し、勉強に役立てていく」とあいさつした。

生徒を代表し、感謝の言葉を述べた1年の黒坂文哉さん(18)は、取材に「自動車整備の資格取得や就職活動を頑張りたい」と話し、意欲を燃やしていた。(中山瑞希)